

令和6年春季企画展

三春歳時記

—武家の年中行事とまつり—

阿武隈の厳しい風土の下、太陰太陽暦と不定時法による緩やかな時間に生まれ、
三春の武士たちは年中行事を整え、四季を彩る祭礼が形成されました。



会 期 2024年3月30日(土)～5月26日(日)

開 館 時 間 午前9時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)

蔵島神社奉納祭礼絵馬 (部分 蔵島神社蔵)

休 館 日 4月22日(月)・30日(火)、5月7日(火)・13日(月)・20日(月)

入 館 料 一般・大学生：300円(250円)、小中高校生等：150円(120円)

郷土人形館・紫雲閣との共通入館券

一般・大学生：400円(300円)、小中高校生等：200円(150円)



三 春 町 歴 史 民 俗 資 料 館
自 由 民 権 記 念 館

〒963-7758 福島県田村郡三春町字桜谷5番地

八雲神社長獅子頭 (八雲神社蔵)



恵比須

大黒

宇迦

翁

翁

口切翁

明治5年(1872)11月9日、明治政府は突然、来たる12月3日をもって明治6年1月1日とする詔書を発表し、太政官が改暦を布告しました。これにより、この年の12月はほぼ失われ、新年を迎えることになりました。新しい年は、これまでの主に月の満ち欠けを基準にした太陰太陽暦(旧暦)から太陽暦(新暦)に改められ、1年間は365日(閏年は366日)に、昼と夜で時間の長さが違っていた不定時法も定時法に固定されました。それまでは各地の販暦業者が作成した暦と、時の鐘や太鼓の音で、月日や時間を知らされていた緩やかな暮らしが、欧米諸国と同じ固定された生活に変わりました。ただし、旧暦の元でも、太陽の運行による二十四節気や七十二候などと月の運行を絶妙に掛け合わせることで、地域や団体、家毎に年中行事を定め、その節目毎に様々な祭りが催されていました。

この展示では、三春藩の上級藩士である細川家、浪岡家、医師の村上家に伝わった年中行事の記録を基に、江戸時代の暮らしを解説します。また、四季を彩る祭りについて、三春の代表的な伝統芸能である長獅子舞や三匹獅子舞、太々神楽などを、道具や写真、絵画などから紹介し、三春の1年の暮らしを振り返ります。



手力男

日本武尊

火吹男

巫女

八幡

諏訪

愛宕神社神楽面 (愛宕神社蔵)

■主な展示品

- 改暦の詔書写、各種暦(館蔵、個人蔵)
- 細川家・浪岡家・村上家年中行事(館蔵、個人蔵)
- 巖島神社(御祭)奉納祭礼絵馬(巖島神社蔵)
- 大元明王祭礼絵巻、三匹獅子道具(田村大元神社蔵)
- 八雲神社(荒町)長獅子道具(八雲神社蔵)
- 白山比咩神社(貝山)獅子道具(白山比咩神社蔵)
- 愛宕神社(富沢)神楽道具(愛宕神社蔵)

ほか

■関連行事

- ギャラリートーク(展示解説)
3月30日(土)、4月20日(土)、5月25日(土)
午後2時から1時間程度
※事前申し込み不要。入館料が必要です。
- 新緑の三春城下町散策(荒天場合は中止します)
5月11日(土)午前10時 三春町役場前集合
三春城下町中心の大町周辺の寺社などを巡ります。
※参加費無料、事前に当館へ申し込みください。



三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館

〒963-7758 福島県田村郡三春町字桜谷5番地

TEL 0247-62-5263 FAX 0247-62-6953

<http://www.town.miharu.fukushima.jp/site/rekishi/>

【交通】

- JR磐越東線三春駅から徒歩30分
- 磐越自動車道船引三春・郡山東各ICから車で約10分

【駐車場】

歴史民俗資料館前駐車場(10台程度)、三春町役場周辺駐車場をご利用ください。